

---

# カーネリアンに消える

紺坂 紫乃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

カーネリアンに消える

### 【Nコード】

N2535BA

### 【作者名】

紺坂 紫乃

### 【あらすじ】

「…私は消えたいの。」

死ではなく自己の抹消を望む少女・沢村瑞希。

密やかに何気ない日々を過ごしていた彼女が異変に気付き始めたのは高2の冬のある日。

クラスメイト・このだましう殿田真白に関してだった。一人また一人と彼の存在

を忘れていく友人や教師達。

殿田の終わりは瑞希の始まりだった。

サイトに掲載しているものをそのまま掲載しています。

サイト名：咲くやこの花 < <http://sakukono4.blog.fc2.com/> >

## 第1話

瑞希は明け方に身体の痛みで覚醒した。

昨夜、突如東京を訪れた寒波のせいか、胎児のように縮こまった体勢で眠っていたせいだろう。まだ判然としない瑞希の頭ではそれが精一杯の思考だった。

少しの身じろぎでさえぎしぎしと鳴る身体を動かすのが億劫で、さらに布団に潜ろうと試してみる。しかし、それはけたたましい携帯のアラーム機能によって失敗に終わった。

瑞希は眉間に皺を寄せながら、布団から腕だけを出してアラームを止めるとゆっくりと身を起こした。

六畳の室内は薄暗い。

ベッドは窓際に配置されているが、遮光性の高いカーテンのせいでもわずかに陽光が漏れ出ている程度しか光を通さないのだ。かといってカーテンを開ける気にもなれず、仕方なく瑞希はいつもの“日課”をこなすことにした。

ゆっくりとした手つきで携帯を弄る。今日は田舎に住まう祖母宅の庭先で撮影した黄色い花の画像を選んだ。

画面に「消去しますか？」の文字が浮かぶ。

それに応じた瑞希は、迷いなく「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押した。

「消去しました」の文字列を確認してから携帯を閉じ、ようやく布団から脱出を果たすと、緩慢な動作で学校へと向かう準備に取り掛かった。

沢村瑞希の一日は、こうして“消去”から始まる。

消去する対象はなんでも良い。不要なプリントを破って捨てたり、

成長して着られなくなった洋服を処分したりと日によってまちまちだった。なぜ、いつから始めたのかすら定かではない程に、「この“日課”は瑞希の一部となっていた。もちろん誰にも話していない。瑞希の小さな秘密の日課である。」

「おはよう。」

階段から降りながら、台所でせわしなく動く母に向かって抑揚のない挨拶をかける。

「あら、おはよう。もうお弁当できてるわよ。」

何気ない、ありふれた朝の光景なのだろう。しかし声の調子から察するに、今日の母は随分と機嫌が良いらしい。いつもなら挨拶が鵯返しにあるだけなのに……と心中で呟いた瑞希が思い当たる節は一つだ。

「お姉ちゃんから、連絡があつたの？」

「そうなの～。さっきメールが入って、今年の年末年始は帰国できるらしいわ。」

やはり姉か、と瑞希は思った。

両親は海外で医師をしている姉をなによりも誇りに思っている。特に母の様子は姉の一挙一動で変わると言っても過言ではない。去年は多忙だったらしく、電話が一本あつたきり帰国できなかったこともあって、どれほどその連絡を待ち望んでいたことだろう。

道理で上機嫌なはずだ。成績も生活態度も平々凡々な自分ではこうはいかない、と瑞希は微かに自嘲する。このままだと気分が滅入りそうだと悟った瑞希は手早く朝食を済ませると同時に、弁当を掴んで「いつてきます。」と玄関に向かった。

背後からは母の、間の抜けたような「いつてらっしゃい。」が聞こえる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2535ba/>

---

カーネリアンに消える

2012年1月6日14時45分発行